

| 授業計画 (講義) | | | | | | |
|-----------|-------|-------------|--|--|-------|---|
| 回 | 日付 | ユニット | 行動目標 (SBOs) | 学習方略 (LS) | 授業担当者 | コアカリ/国試出題基準 |
| 1 | 9/1 | 総論 歯形解剖学 | 1. ヒトの歯の生物学的意義について説明できる。 2. 歯の種類、名称、記号、歯式、方向用語を説明できる。 3. 歯の名称および構造物の名称を日本語と英語で説明できる。 | A P3~36, B P101~102。講義用 DVD、提示カメラを用いて解説を行う。 | 松尾雅斗 | F-3-1)-②~⑤ 総 I -(I)-4-A, B |
| 2 | 9/8 | 切歯 | 1. 上下顎および隣接する切歯の形態と特徴の差異を説明できる。 2. 歯列の中の切歯の位置について説明できる。 | A P37~50, B P102。講義用 DVD、提示カメラを用いて解説を行う。 | 松尾雅斗 | F-3-1)-②~⑤ 総 I -(I)-4-A, B |
| 3 | 9/15 | 犬歯 | 1. 上下顎犬歯の形態と特徴の差異を説明できる。 2. 歯列の中の犬歯の位置と咬合関係について説明できる。 | A P51~55, B P102。講義用 DVD、提示カメラを用いて解説を行う。 | 松尾雅斗 | F-3-1)-②~⑤ 総 I -(I)-4-A, B |
| 4 | 9/22 | 上顎小臼歯 | 1. 上顎第一小臼歯と第二小臼歯の形態と特徴の差異を説明できる。 2. 歯列の中の上顎小臼歯の位置と咬合について説明できる。 | A P56~61, B P104。講義用 DVD、提示カメラを用いて解説を行う。 | 松尾雅斗 | F-3-1)-②~⑤ 総 I -(I)-4-A, B |
| 5 | 9/29 | 下顎小臼歯 | 1. 下顎第一小臼歯と第二小臼歯の形態と特徴の差異を説明できる。 2. 歯列の中の下顎小臼歯の位置と咬合について説明できる。 | A P62~66, B P104。講義用 DVD、提示カメラを用いて解説を行う。 | 松尾雅斗 | F-3-1)-②~⑤ 総 I -(I)-4-A, B |
| 6 | 10/6 | 上顎大臼歯 | 1. 上顎第一大臼歯と第二大臼歯の形態と特徴の差異を説明できる。 2. 咬頭と歯根の成り立ちについて説明できる。 3. 歯列の中の上顎大臼歯の位置と咬合について説明できる。 | A P67~75, B P105。講義用 DVD、提示カメラを用いて解説を行う。 | 松尾雅斗 | F-3-1)-②~⑤ 総 I -(I)-4-A, B |
| 7 | 10/13 | 下顎大臼歯 | 1. 下顎第一大臼歯と第二大臼歯の形態と特徴の差異を説明できる。 2. 咬頭と歯根の成り立ちについて説明できる。 3. 歯列の中の下顎小臼歯の位置と咬合について説明できる。 | A P76~83, B P105。講義用 DVD、提示カメラを用いて解説を行う。 | 松尾雅斗 | F-3-1)-②~⑤ 総 I -(I)-4-A, B |
| 8 | 10/20 | 乳歯 | 1. 乳歯の特徴について永久歯と比較して説明できる。 2. 乳歯の種類と名称を説明できる。 3. 乳歯の形態とその機能を説明できる。 | A P85~124, 125~143, B P103。講義用 DVD、提示カメラを用いて解説を行う。 | 松尾雅斗 | F-3-1)-②~⑤ 総 I -(I)-4-A, B 各 I -(I)-3-A |
| 9 | 10/27 | 歯列と咬合 | 1. 歯列弓の形態を分類し説明できる。 2. 上下・隣在歯の接触関係を説明できる。 3. 基本的な咬合様式と咬合位について説明できる。 | A P143~167。提示カメラを用いて異常歯および症例を示し解説を行う。 | 松尾雅斗 | F-2-2)-③ 総 I -(III)-1-A, B 総 I -(III)-2-B ~ D |
| 10 | 11/10 | 異常歯 | 1. 歯の模型、天然歯を用いた歯の鑑別ができる。 2. 天然歯を用いて歯種別の形態と特徴を説明できる。 3. 歯の形態異常について説明できる。 | B P101~103。天然歯を配布し解説に合わせて、鑑別を行う。 | 松尾雅斗 | F-2-2)-③ 総 I -(I)-4-A, B 各 III -(III)-1-A ~ E |
| 11 | 11/17 | 脊柱と胸郭 | 脊柱と胸郭を構成する骨を列挙できる。 | C P82~103。パワーポイントと板書により解説する。 | 飯村彰 | D-2-3)-(2)-① 総 I -(I)-1-b |
| 12 | 11/24 | 下肢の骨と | 上肢帯と自由上肢、骨盤と自由下肢を構成する主な骨を列挙できる。 | C P82~103。パワーポイントと板書により解説する。 | 飯村彰 | D-2-1)-① 総 I -(I)-7-A |
| 13 | 12/1 | 造頭蓋骨の構 | 1. 頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 2. 内、外頭蓋底の孔とそこを通る脈管、神経を説明できる。 | B P54~65。パワーポイントと板書により解説する。 | 松尾雅斗 | F-2-1)-① 総 I -(I)-7-A |
| 14 | 12/8 | 準頭蓋骨の基 | 頭蓋骨の基準点と基準平面を設定できる。 | B P42~68。パワーポイントと D 頭蓋骨モデルにより解説する。 | 松尾雅斗 | F-2-1)-① 総 I -(I)-7-A |
| 15 | 12/15 | 顎関節 | 顎関節を構成する主な骨を列挙できる。 | B P42~68。パワーポイントと D 頭蓋骨モデルにより解説する。 | 松尾雅斗 | F-2-1)-① 総 I -(I)-7-A |

| 授業計画（実習） | | | | | | |
|----------|-------|-------------|---|--|---------------|----------------------------|
| 回 | 日付 | ユニット | 行動目標（SBOs） | 学習方略（LS） | 授業担当者 | コアカリ/国試出題基準 |
| 1 | 9/1 | 総論 歯形解剖学 | 1. ノギスを用いた計測が行える。 2. 計測値に基づいた図を作製できる。 | ノギスを用い、歯の計測をさせる。計測値に基づく歯の展開図のスケッチをさせる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | E-2-② 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B |
| 2 | 9/1 | | 1. 歯科技工の基本を実施できる。 2. 石膏・ワックスが彫刻刀で切削できる。 3. ワックスを軟化し築盛できる。 | 石膏によるカービング、ワックスによるモデリングをさせる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | E-2-②③ 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B |
| 3 | 9/8 | 切歯 | 1. 上顎中切歯各面の解剖学的特徴を有した展開図をスケッチできる。 2. 上顎中切歯の解剖学的特徴を有した概形を石膏で彫刻できる。 | 模型計測後、展開図のスケッチをさせる。石膏棒を用いて歯冠・歯根概形の彫刻をさせる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-3-1)-②～⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B |
| 4 | 9/8 | | 1. 上顎中切歯の解剖学的特徴を有した石膏彫刻ができる。 2. 審美的要素を満たした形態を持ち、隣接歯や対合歯との機能調和のとれた彫刻ができる。 | 隆線、溝を彫刻し仕上げ・完成をさせる。宿題で上顎側切歯の彫刻をさせる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-3-1)-②～⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B |
| 5 | 9/15 | | 1. 下顎中切歯各面の解剖学的特徴を有した展開図をスケッチできる。 2. 下顎中切歯の解剖学的特徴を有した概形で石膏彫刻ができる。 | 模型計測後、展開図のスケッチをさせる。石膏棒を用いて歯冠の概形の彫刻をさせる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-3-1)-②～⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B |
| 6 | 9/15 | | 1. 下顎中切歯の解剖学的特徴を有した石膏彫刻ができる。 2. 審美的要素を満たした形態を持ち、隣接歯や対合歯との機能調和のとれた彫刻ができる。 | 隆線、溝を彫刻して仕上げ・完成をさせる。宿題で下顎側切歯の彫刻をさせる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-3-1)-②～⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B |
| 7 | 9/22 | 犬歯 | 1. 上顎犬歯各面の解剖学的特徴を有した展開図をスケッチできる。 2. 上顎犬歯の解剖学的特徴を有した概形でワックス彫刻ができる。 | 模型計測後、展開図のスケッチをさせる。ワックス棒を用いて歯冠概形の彫刻をさせる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-3-1)-②～⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B |
| 8 | 9/22 | | 1. 上顎犬歯の解剖学的特徴を有したワックス彫刻ができる。 2. 審美的要素を満たした形態を持ち、隣接歯や対合歯との機能調和のとれた彫刻ができる。 | 詳細に彫刻・築盛して仕上げ・完成をさせる。宿題で下顎犬歯の彫刻をさせる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-3-1)-②～⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B |
| 9 | 9/29 | 上顎 小白歯 | 1. 上顎第一小白歯各面の展開図をスケッチできる。 2. 上顎第一小白歯の解剖学的特徴を有した概形で石膏彫刻ができる。 | 模型計測後、展開図のスケッチをさせる。石膏棒を用いて歯冠・歯根の概形の彫刻をさせる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-3-1)-②～⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B |
| 10 | 9/29 | | 1. 上顎第一小白歯の解剖学的特徴を有した石膏彫刻ができる。 2. 審美的要素を満たした形態を持ち、隣接歯や対合歯との機能調和のとれた彫刻ができる。 | 咬頭、隆線、溝を彫刻して仕上げ・完成をさせる。宿題で上顎第二小白歯彫刻をさせる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-3-1)-②～⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B |
| 11 | 10/6 | 下顎 小白歯 | 1. 下顎第二小白歯各面の展開図をスケッチできる。 2. 下顎第二小白歯の解剖学的特徴を有した概形でワックス彫刻ができる。 | 模型計測後、展開図のスケッチをさせる。石膏棒を用いて歯冠・歯根の概形の彫刻をさせる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-3-1)-②～⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B |
| 12 | 10/6 | | 1. 下顎第二小白歯の解剖学的特徴を有したワックス彫刻ができる。 2. 審美的要素を満たした形態を持ち、隣接歯や対合歯との機能調和のとれた彫刻ができる。 | 咬頭、隆線、溝を彫刻して仕上げ・完成をさせる。宿題で下顎第一小白歯彫刻をさせる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-3-1)-②～⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B |
| 13 | 10/13 | 上顎 大臼歯 | 1. 上顎第一大臼歯模型の計測点をノギスで正確に測れる。 2. 上顎第一大臼歯各面の解剖学的特徴を有した展開図をスケッチできる。 | 模型計測後、展開図のスケッチし、石膏棒に計測点を記入させる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-3-1)-②～⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B |
| 14 | 10/13 | | 1. 上顎第一大臼歯の解剖学的特徴と審美的要素を有した彫刻ができる。 2. 隣接歯や対合歯との機能調和のとれた彫刻ができる。 | 歯冠および歯根を詳細に彫刻をさせる。宿題で上顎第二大臼歯の彫刻をさせる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-3-1)-②～⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B |
| 15 | 10/20 | 下顎 大臼歯 | 1. 上顎第一大臼歯模型の計測点をノギスで正確に測れる。 2. 上顎第一大臼歯各面の解剖学的特徴を有した展開図をスケッチできる。 | 模型計測後、展開図のスケッチし、石膏ブロックに計測点を記入させる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-3-1)-②～⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B |

| 授業計画（実習） | | | | | | |
|----------|-------|-----------|---|--|---------------|--|
| 回 | 日付 | ユニット | 行動目標（SBOs） | 学習方略（LS） | 授業担当者 | コアカリ/国試出題基準 |
| 16 | 10/20 | 下顎大臼歯 | 1. 上顎第一大臼歯の解剖学的特徴と審美的養素を有した彫刻ができる。 2. 隣接歯や対合歯との機能調和のとれた彫刻ができる。 | 歯冠・歯根を詳細に彫刻をさせる。宿題で上顎第二大臼歯の彫刻をさせる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-3-1)-②～⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B |
| 17 | 10/27 | 乳歯 | 1. 上顎第二乳臼歯各面の解剖学的特徴を有した展開図をスケッチできる。 2. 上顎第二乳臼歯の解剖学的特徴を有した概形でワックス彫刻ができる。 | 模型計測後、展開図をスケッチさせる。ワックスを用いて歯冠概形を彫刻をさせる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-3-1)-②～⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B 各Ⅰ-(Ⅰ)-3-A |
| 18 | 10/27 | | 1. 上顎第二乳臼歯の解剖学的特徴を有したワックス彫刻ができる。 2. 審美的要素を満たした形態を持ち、永久歯との鑑別可能な彫刻ができる。 | 咬頭、隆線、溝を詳細に彫刻して仕上・完成をさせる。宿題で下顎第二乳臼歯彫刻をさせる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-3-1)-②～⑤ 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B 各Ⅰ-(Ⅰ)-3-A |
| 19 | 11/10 | 歯列と咬合 | 1. 歯列と咬合について説明できる。 2. 下顎運動の基本を説明できる。 3. 咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 | 実習彫刻した上下大臼歯が正常な咬合・隣接状態となるように調整させる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-2-2)-③ 総Ⅰ-(Ⅲ)-1-A、B 総Ⅰ-(Ⅲ)-2-B～D |
| 20 | 11/10 | 異常歯 | 1. 異常歯を鑑別し、形態的特徴を理解する。 2. 立体的な歯の形態、構造をイメージできる。 3. イメージした像をワックスで具体的に再現できる。 | 異常歯を配布し鑑別を行う。ワックスを用いた彫刻試験を行い、指導医から評価と指導を受ける。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-2-2)-③ 総Ⅰ-(Ⅰ)-4-A、B 各Ⅲ-(Ⅲ)-1-A～E |
| 21 | 11/17 | 脊柱と胸郭 | 椎骨の基本構造と椎骨間の連絡を説明できる。 | テレビカメラと骨標本により解説する。 | 飯村彰 教室員全員 | D-2-3)-(2)-①② 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-b |
| 22 | 11/17 | | 胸郭を構成する骨とその連絡を説明できる。 | 標本の観察とスケッチをさせる。 | 飯村彰 教室員全員 | D-2-3)-(2)-①② 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-b |
| 23 | 11/24 | 上肢の骨と下肢の骨 | 上肢帯と自由上肢を構成する骨とその連絡を説明できる。 | // | 飯村彰 教室員全員 | D-2-3)-(2)-①② 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-b |
| 24 | 11/24 | | 骨盤と自由下肢を構成する骨とその連絡を説明できる。 | // | 飯村彰 教室員全員 | D-2-3)-(2)-①② 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-b |
| 25 | 12/1 | 頭蓋骨の構造 | 顔面頭蓋の構成を説明できる。 | 標本の観察とスケッチをさせる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-2-1)-① 総Ⅰ-(Ⅰ)-7-A |
| 26 | 12/1 | | 脳頭蓋と顔面頭蓋の構造物を説明できる。 | D 頭蓋骨モデルを用いて骨の分類、着色をさせる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-2-1)-① 総Ⅰ-(Ⅰ)-7-A |
| 27 | 12/8 | 頭蓋骨の基準平面 | 内頭蓋底において主な孔とそこを通る脈管、神経を説明できる。 | 標本の観察とスケッチをさせる。D 頭蓋骨モデルを用いて構造物を理解させる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-2-1)-① 総Ⅰ-(Ⅰ)-7-A |
| 28 | 12/8 | | 解剖学的基準点・基準平面を身につける。 | 標本の観察とスケッチをさせる。D 頭蓋骨モデルを用いて下顎運動を理解させる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-2-1)-① 総Ⅰ-(Ⅰ)-7-A |
| 29 | 12/15 | 顎関節 | 上顎骨と下顎骨の形態と構造を説明できる。 | 標本の観察とスケッチをさせる。D 頭蓋骨モデルを用いて下顎運動を理解させる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-2-1)-① 総Ⅰ-(Ⅰ)-7-A |
| 30 | 12/15 | | 顎関節の構成を説明できる。 | 標本の観察とスケッチをさせる。D 頭蓋骨モデルを用いて下顎運動を理解させる。 | 松尾雅斗 教室員全員 | F-2-1)-① 総Ⅰ-(Ⅰ)-7-A |